

## Journal of Cancer Supportive Care(がんサポーターティブケア)投稿規程

### 1. 編集方針

Journal of Cancer Supportive Care(がんサポーターティブケア)は日本がんサポーターティブケア学会(JASCC)の機関誌として、サポーターティブケア(支持医療)に関する基礎的・臨床的研究を発表するものである。媒体として、電子ジャーナルを採用する。本誌の論文内容は、他誌に発表されていない新しい知見に基づき、多数の読者に対して寄与するものと認められたものに限られる。言語は日本語のみとする。

### 2. 投稿の際の留意点

#### (1) 著者資格

責任著者は日本がんサポーターティブケア学会本会員でなくてはならない。本誌における著者資格の基準は、国際医学雑誌編集委員会(ICMJE)「医学雑誌掲載のための学術研究の実施、報告、編集、および出版に関する勧告」に従い、以下の4つの基準を満たすすべての者は著者とし、4つの基準をすべて満たさない者は、謝辞に記載する。

- 1) 研究の構想もしくはデザインについて、または研究データの収集、分析、もしくは解釈について実質的な貢献をする。
- 2) 原稿の起草または重要な知的内容に関わる批判的な推敲に関与する。
- 3) 投稿論文ならびに出版原稿の最終承認をする。
- 4) 研究のいかなる部分についても、正確性あるいは公正性に関する疑問が適切に調査され、解決されるようにし、研究のすべての側面について説明責任があることに同意する。

#### ① 「著者資格に関する申告書」

#### (2) 人を対象とする研究における倫理的配慮

人を対象とする研究を実施する際には、世界医師会ヘルシンキ宣言に従い、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」等該当する国内の指針・法令を遵守して実施する。特に研究対象者からのインフォームド・コンセントの取得、及び倫理審査委員会の承認については論文に明記すること(インフォームド・コンセントの取得、及び倫理審査委員会の承認が不要な場合はその旨を説明すること)。

なお、倫理委員会名(審査番号)を論文に記載する際は、●等でダミーとし、採択時にはEMに入力した、(倫理委員会名と審査番号)が使用される。

また、本誌では人を対象とする医学系研究の場合は、基本的に倫理審査委員会での承認を必要とする。ただし、判断に迷う場合には倫理審査委員会から審査不要である旨の証明書等(IRB exemption letter)を発行してもらうこと。臨床試験は、臨床試験登録公開制度システム(UMIN-CTRなど)に登録されていること。ランダム化比較試験(randomized controlled trial; RCT)では、CONSORT声明に従っていること。症例報告などのプライバシー保護に関しては外科系学会協議会による「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」に従うこと。

### (3) オリジナリティ

「Journal of Cancer Supportive Care(がんサポーターティブケア)学会誌の論文投稿に関する不正行為防止のためのガイドライン」を確認し、投稿時に「論文投稿における不正行為防止に関する誓約書」を提出すること。

#### ② 論文投稿における不正行為防止に関する誓約書

### (4) 利益相反

科学研究として公平性・信頼性を確保するため、企業等との利益相反について明確にする必要がある。

#### ③-1 (学会誌発表)利益相反事項届出書

#### ③-2 学会誌発表利益相反事項届出書

なお、投稿に際しては、①「著者資格に関する申告書」、②「論文投稿における不正行為防止に関する誓約書」、③-1「(学会誌発表)利益相反事項届出書」、③-2「学会誌論文発表者の利益相反事項届出書」、④「投稿・著作権譲渡 同意書」に定める事項についての提出をしなければならない。

### (5) 生成 AI 利用

投稿論文において、文章・画像・図表・動画・音声等について生成 AI を使用して作成された場合は、論文・記事内の方法または謝辞のセクションに以下の点を開示すること。(該当するセクションがなければ、緒言や他の適切なセクションに記載する。)

また、生成 AI や AI 支援技術を著者・共著者として記載したり、著者として引用したりしてはならない。

#### ① 使用した生成 AI の名称・バージョン・製造元

#### ② 使用目的

## 3. 著作権、オープンアクセス、料金

Journal of Cancer Supportive Care(がんサポーターティブケア)はオープンアクセス誌であり、クリエイティブ・コモンズ (CC) ライセンスを使用している。このライセンスは、利用者が本誌に掲載された論文を無償かつ出版者や著者の事前承諾を得ることなく使用、再利用を許可するものである。CC ライセンスの詳細は以下の通り。

### (1) 著作権と CC ライセンス

本学会誌に掲載された論文の著作権は日本がんサポーターティブケア学会に属する。論文は、クリエイティブ・コモンズ Attribution-NonCommercial-NoDerivatives 4.0 International (CC BY-NC-ND 4.0) (表示-営利利用不可-改変禁止) ライセンスのもとで出版される。このライセンスでは、適切なクレジットが付けられていれば、許諾無しで、改変されてい

ない論文を非営利目的にのみ利用することができる。営利利用および改変利用については、学会からの許可が必要である。著者は、投稿時に「投稿・著作権譲渡 同意書」をオンライン投稿・査読システムから論文と一緒に提出すること。助成団体によっては、その団体が助成した論文を、特定のクリエイティブ・コモンズ・ライセンスのもとで出版することを求めている場合がある。本誌に論文を投稿する前に、関連する助成団体が求めている実施要件を確認すること。

#### (2) 手数料および料金

掲載料：すべての共著者が本会会員の場合は無料とする。筆頭著者以外の共著者に非会員が含まれる場合は掲載料の支払いが必要である。掲載料は非会員の人数×5,000円とする。なお、掲載料はいかなる場合も返金しない。また、図表等、印刷上、特別な費用を必要とした場合は著者負担とする。加えて、規定している文字数を超えた際は、1ページ追加ごとに10,000円を著者負担とする。※1ページ約2,300文字

<別刷り>

校正作業の段階で別刷りを注文することができる。別刷りの最小発注部数は30部で、校正原稿と一緒に別刷料金一覧表が責任著者に送付される。

## 4. 論文の種類

### I. 原著

がんサポーターティブケアの知識の発展に貢献する研究論文であり、重要性が高く、新しい知見が論理的に述べられているもの。

### II. 実践報告

がんサポーターティブケアに関連した実践に関する報告で、医療の質改善の取り組みや支援活動などで実際に行われた取り組みや介入の内容、プロセス、得られた成果・課題などを報告する。

### III. 症例報告

個別の患者の臨床経過を詳細に記述し、希少な症例や既存の知見と異なる経過を辿った事例など臨床現場において有用性や学術的意義のある情報を報告する。

### IV. 活動報告

学会が実施した行事、教育セッション、シンポジウム、キャンペーン等の実施概要と成果を記録した報告。

### V. 総説

がんサポーターティブケアに関わる特定のテーマについて多面的に内外の知見を集め、また文献等をレビューして、当該テーマについて総合的に学問的状况を概説し、考察したもの。系統的レビューだけでなく、スコーピングレビュー、概念分析を含む。

### VI. その他(プロトコル論文含む)

委員会報告、理事会・編集委員会からの依頼原稿など。その他においては文字数の制限は設けない。

## 5. 論文の採否

論文の採択過程は、投稿された論文が投稿規程を満たしているかを編集部で確認する。次に Journal of Cancer Supportive Care(がんサポーターティブケア)誌編集委員長(以下編集長)が論文の内容を確認後、倫理的に重要な問題点があれば即座に不採択とする。重要な問題点がない論文は、編集長は一人の編集委員を任命する。論文を担当した編集委員は、二人以上の査読者を選定しピア・レビューを行う。なお、査読の過程で著者は編集委員、査読者は分からないが、査読者は編集委員、著者が分かる。査読結果に基づき、編集委員、編集長は論文の採否を決定し著者に通知する。

## 6. 原稿の書き方

和文論文を受け付ける。和文表題は100字、英語表題は50 words、和文ランニングタイトルは25字以内とする。

抄録は原著、実践報告、症例報告、活動報告、総説とも、和文は400字以内、英文は250 words以内とし、目的、方法、結果、考察で構成する。

原則として、原著では文字数で8,000字以内(抄録、引用文献、図表は含まない)、実践報告・症例報告・活動報告では4,000字以内、総説では12,000字以内とする。要旨・写真・図表・文献・謝辞・利益相反の有無・各著者の貢献内容は文字数に含めない。写真・図表は原著、総説では5点以内、実践報告、症例報告・活動報告・その他(プロトコル論文含む)では3点以内とする。図1a,bのような複合的な図(組画像)は認めない。写真・図表は初出であること。写真・図表の引用転載は認めない。

投稿論文のファイル形式はMicrosoft Wordを使用する。尚、図のデータは、JPEG ファイルを用意、もしくはMicrosoft Word、Microsoft PowerPoint に貼付する。表のデータはExcel または Word のテーブル機能で作成する。

なお、査読後の再投稿時には、①再投稿論文は修正した箇所は、色を変えて投稿をする。②各査読者および編集委員会の査読内容に対して、どのように修正したのかが分かるように、①誰の②どのような査読内容に対して、③どのように修正したのか、①～③が明記されているワードファイルを作成して、査読返信用のデータを作成すること。

論文原稿には、タイトルページ：表題、抄録、キーワード、ランニングタイトル、を記載する。ランニングタイトル以外はすべて英文も必要である。EM に、著者名・所属を日本語・英語ともに入力する。原著論文は(1)表題、(2)緒言、(3)方法、(4)結果、(5)考察、(6)結論、(7)謝辞、(8)研究資金、(9)利益相反関係の有無、(10)各著者の貢献内容、(11)引用文献、(12)表、(13)図とする。(1)から(13)の順序で構成する。※再投稿時は査読者返信を提出する。

実践報告、症例報告、活動報告の構成もこれらに準じるが、報告の趣旨に沿って適宜変更してもよい。

## 投稿フォーマット

WordのA4判とし、サイズ等は以下とする。

フォントサイズ：10ポイント

1行の文字数：35字

1枚の行数：24行

余白：前後左右を各々30 mm

各ページには、ページ番号を設定し、行番号を各ページで振りなおすこと。

文字数はWordの文字カウントで確認すること。

※査読に関連して修正論文が規定の文字数を超えた場合は、著者負担となる。

(7)～(11)は、本誌はブラインドによる査読を行うため、本文中に著者名が容易に推測されるような記載は行わない。ただし、本誌は調査対象となる施設名などを匿名化することは求めない。(7)と(9)に関しては、採択後、編集部(編集事務局)より確認の連絡がある。

(7)謝辞では、著者資格の基準を満たさない研究貢献者を記載する(投稿時は、●等でダミーにする)。(8)研究資金では、科研費など非営利の団体からの資金提供があった場合に記載する。

(9)利益相反関係の有無では、「有」の場合は、●等でダミーにする。

(10)各著者の貢献内容は、次のように記載する。

例) A および B は研究の構想およびデザイン、原稿の起草に貢献；C は研究データの収集、分析、原稿の起草に貢献；D は研究データの解釈、原稿の重要な知的内容に関わる批判的な推敲に貢献した。すべての著者は投稿論文ならびに出版原稿の最終承認、および研究の説明責任に同意した。

文中の英数字、記号(例：%，( ) など)は半角で記載する。

(11)引用文献は、バンクーバー方式に則った記載とする。本文に引用された順に番号をつけ、末尾に一括し、「著者名3名以内(4名以上は、和文誌は他、英文誌は et al とする) . 表題. 誌名 (Index Medicus、医学中央雑誌の記載に従う) 年 (西暦) ; 巻: 頁 (開始頁と終了頁)」の順に記載する。尚、引用文献のセパレーター「;」「:」「.」「,」のあとに半角スペースを挿入する。HP からの引用は、「著者名 (HP 運営団体名) . サイト名. HP アドレス (最終アクセス日)」の順に記載する。

自著を引用する場合は、「著者」「筆者」との文言を用いず、自身の固有名詞を明記し、文献リストにも明記する。

例：雑誌論文

欧文

1) Fukushima T, Nakano J, Ishii S, et al. Factors associated with muscle function in patients

with hematologic malignancies undergoing chemotherapy. Support Care Cancer. 2020 Mar; 28(3): 1433–9. doi: 10.1007/s00520-019-04955-2.

和文

1) 福島卓矢, 辻哲也, 中野治郎, 他. がん診療連携拠点病院における入院がんリハビリテーション治療の詳細. 日本緩和医療学会誌. 2023; 18(2): 143–52.

例：書籍

1) 松尾宏一, 緒方憲太郎, 林稔展 編. がん薬物療法のひきだし 腫瘍薬学の基本から応用まで, 第2版. 医学書院, 東京, 2024; 1-15.

例：HPからの引用

1) がん情報サービス 最新がん統計  
[https://ganjoho.jp/reg\\_stat/statistics/stat/summary.html](https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html) (2025年7月25日アクセス)

(12~13) 図・表・写真に用いる言語は和文とし、説明も同様とする。

## 7. 原稿の投稿方法

原稿は電子投稿として、『Editorial Manager』を使い投稿する。

<https://www.editorialmanager.com/jascc>

投稿をする場合、まず責任著者が「ユーザ登録」を行い、その後「著者ログイン」をする。ログイン後、「初回投稿の作成を開始する」をクリックし、画面の指示に従い論文の投稿を行う。

投稿方法はログイン画面にあるマニュアルを参照し、投稿に際し不明な点があれば、編集部にお問い合わせる。

以下、電子投稿の方法の具体的な手順を説明する。

### 1) ユーザ登録

論文を投稿するため、責任著者が初回投稿時のみユーザ登録を行う。

画面中央部にある「ユーザ登録」をクリックし、著者情報を入力する。

### 2) 論文投稿

メールで届く「ユーザ名」「パスワード」に沿って、電子投稿のトップページもしくはログインページを開く。

著者メインメニューのページで、「初回投稿」の項目中にある「新規投稿を開始する」から投稿を開始する。

### 3) 論文種別

論文種別として「原著」「実践報告」「症例報告」「活動報告」「総説」「その他(プロト

コール論文含む)」を選択する。

#### 4) ファイルアップロード

論文のファイルアップロードを行うにあたり、論文の記載が投稿規程に沿っているかを確認する。

ファイルの種別のプルダウンに沿って、「Manuscript (論文原稿)」「Figure (図)」「Table (表)」「Other (その他)」をアップロードする。論文原稿は必須である。図表は論文原稿中に含んでも構わない。①「著者資格に関する申告書」、②「論文投稿における不正行為防止に関する誓約書」、③-1「(学会誌発表)利益相反事項届出書」、③-2「学会誌論文発表者の利益相反事項届出書」、④「投稿・著作権譲渡 同意書」は必須で、それぞれのファイル種別にアップロードする。

#### 5) 著者への質問

投稿者に対し確認すべき点についての質問事項に回答する。

#### 6) コメント

責任著者より編集部・編集委員へのコメントがある場合は、この画面で入力を行う。

#### 7) 標題

論文の標題、英語表題、ランニングタイトル(短縮表題)、を入力する。

#### 8) 抄録

論文の抄録、英語抄録を入力する。

#### 9) キーワード

論文のキーワードを入力する。和文5語以内、英文も同じく5語以内とする。

キーワードの選択にあたっては、医学中央雑誌医学用語シソーラス(第1版、1983、医学中央雑誌刊行会)、日本語医学用辞典(日本医学会)などを参照とする。英文キーワードにおいては、『MeSH』を参考とする。

#### 10) 著者情報

共著者がいる場合は、「著者情報」で追加登録を行う。

責任著者(Corresponding Author)は「責任著者」のチェックボックスにチェックを付ける。「著者情報」の画面に戻った際、著者の一覧表が現れるので順番・責任著者などの設定の変更や削除が行える。

投稿完了後の著者情報の変更は不能である。

#### 11) 投稿論文の確認

ファイルアップロードを行った論文原稿・図表をPDFファイルにしたものが出力されるので、投稿した情報・ファイルに誤りがないかを確認する。

PDFの内容に間違いがない場合、一覧の一番右にある「同意します」のチェックボックスにチェックを付け、「アクションリンク」内の「投稿－事務局に送信する」をクリックし投稿を完了する。

## 12) 問い合わせ先

操作について不明な点がある場合は、下記編集部連絡先へ問い合わせる。

## 8. 著者校正

著者校正は投稿論文を組版したPDFファイルを添付した電子メールにより通知される。校正の段階では、過度の変更は認められず、組版のミスや誤字・脱字に対する修正のみが認められる。PDFファイルの校正部分を箇条書きとした電子メールを編集部に返送する。

## 9. 発刊月

不定期刊行(2月・5月・8月・11月のいずれかの月)

## 10. 編集部連絡先

日本がんサポーターティブケア学会雑誌

編集事務局

〒105-0014 東京都港区芝 1-9-3 芝マツラビル 1F

大村印刷株式会社内

E-mail : [jascc@med.omura.jp](mailto:jascc@med.omura.jp)

TEL : 03-6459-0066 FAX : 03-3451-6561